

看護理論	1年・前期	1単位 15時間	教授 伊藤美鈴
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110481

1. 授業のねらい・概要

学生が、看護理論に関する基本的知識について知り、看護理論と看護実践の関連・活用について考えることを目的とする。

学生は、ヘンダーソン、オレム、ペプロウ、キング等、主な理論家の理論を理解しながら、看護現象を科学的に理解する力や看護の基盤となる看護観を養う。

2. 学修の到達目標

1. 看護理論を学ぶ意義を自分の言葉で説明できる。(D-2)
2. 看護理論の分類と歴史の変遷について時系列に説明できる。(D-2)
3. ヴァージニア A. ヘンダーソンの看護理論の歴史的背景と理論概要について、看護現象を用いて説明できる。(D-2)
4. ドロセア E. オレムの看護理論の歴史的背景と理論概要について、看護現象を用いて説明できる。(D-2)
5. ヒルデガー E. ペプロウの看護理論の歴史的背景と理論概要について、看護現象を用いて説明できる。(D-2)
6. アイモジン・キングの看護理論の歴史的背景と理論概要について、看護現象を用いて説明できる。(D-2)
7. 看護理論を看護実践に活用する意義について、科学的根拠を用いて説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づく資料を用いた講義形式で授業を進める。

【アクティブラーニング実施の有無】

アクティブラーニングとして、授業の最後にリフレクション（振り返りシート〈リアクションペーパー〉）を用いる。

【ICT活用の有無】

メールでの学習の質問に応じる。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	看護理論を学ぶ意義 看護理論の分類	講義	予習：テキスト p. 2～13 を読む。 復習：授業資料を復習する。	伊藤美鈴
2	看護理論の歴史の変遷	講義	予習：テキスト p. 14～17 を読む。 復習：授業資料を復習する。	伊藤
3	代表的な看護理論の理解と実践への活用① ヴァージニア A. ヘンダーソン	講義	予習：テキスト p. 30～39 「ヴァージニア A. ヘンダーソン」の部分を読む。 復習：授業資料を復習する。	伊藤
4	代表的な看護理論の理解と実践への活用② ドロセア E. オレム	講義	予習：テキスト p. 77～86 「ドロセア E. オレム」の部分を読む。 復習：授業資料を復習する。	伊藤
5	代表的な看護理論の理解と実践への活用③	講義	予習：テキスト p. 50～60 「ヒルデガード E. ペプロウ」の部分を読む。	伊藤

	ヒルデガー E. ペプロウ		復習：授業資料を復習する。	
6	代表的な看護理論の理解と実践への活用④ アイモジン・キング	講義	予習：配布資料「アイモジン・キング」の部分を読む。 復習：授業資料を復習する。	伊藤
7	看護理論を看護実践に活用する意義 グループ発表『ジョイス・トラベルビー』	講義	予習：グループ別にジョイス・トラベルビーに関する内容をレポートし、資料と発表原稿を作成する。 復習：授業資料を復習する。	伊藤
8	代表的な看護理論の理解と実践への活用 マージョリー・ゴードン 筆記試験	講義	予習：過去の授業資料を復習する。 復習：授業で取り上げた以外の理論家についてもテキストを読み、看護理論への理解を深める。	伊藤

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）90%，レポート10%により総合的に評価する。

但し、どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。

課題レポートの詳細・締め切り・提出場所等は、講義内で資料を提示する。

レポートのルーブリック（課題レポート5点，発表原稿・資料5点）

評価基準	視点	評価資料	評価基準		
			5（十分達成）	3（おおむね達成）	1（達成が不十分）
課題レポート	知識	ジョイス・トラベルビーに関する以下の内容 ・課題レポート	・ジョイス・トラベルビーを説明する際に必要な情報（出生年，没年，出生地，著作〈邦題〉，理論の内容）が具体的に説明されている	・ジョイス・トラベルビーを説明する際に必要な情報（出生年，没年，出生地，著作〈邦題〉，理論の内容）が説明されているが不十分	・ジョイス・トラベルビーを説明する際に必要な情報（出生年，没年，出生地，著作〈邦題〉，理論の内容）が一部説明されていない
課題発表	知識	ジョイス・トラベルビーに関する以下の内容 ・発表のための配付資料 ・発表原稿	・ジョイス・トラベルビーの理論の内容を，具体的にわかりやすい資料を作成し，発表できている	・ジョイス・トラベルビーの理論の内容を，資料を作成し，発表できているが不十分	・ジョイス・トラベルビーの理論の内容を，資料がなく発表できていない

6. テキスト・参考文献

教科書：1) 竹尾恵子：新訂版 事例で学ぶ看護理論（最新版），学研メディカル秀潤社。

参考書：1) 筒井真優美：看護学テキスト NiCE 看護理論：看護理論21の理解と実践への応用（最新版），南江堂。

2) ヴァージニア ヘンダーソン，湯槇ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの（最新版），日本看護協会出版会。

3) ドロセア E. オレム，小野寺杜紀訳：オレム看護論—看護実践における基本概念（最新版），医学書院。

4) ヒルデガード・E ペプロウ，稲田八重子他訳：人間関係の看護論—精神力学的看護の概念 枠（最新版），医学書院。

5) アイモジン M. キング，杉森みど里訳：キング看護理論（最新版），医学書院。

6) ジョイス・トラベルビー，長谷川浩他訳：トラベルビー 人間対人間の看護（最新版），医学書院。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲について，最低45分の予習をして臨み，授業内容について最低45分以上

の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。授業中の私語、授業中に授業に関する作業以外の行動および他授業中に本授業に関する作業を実施する等の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

1年次の「看護体験実習」の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は内容を確認して返却する。内容の不備なものは再提出を求めることがある。定期試験の答案は返却しない。試験終了後、模範解答を掲示して周知する予定。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行います。